

さいたま市議会 6月定例会報告

さいたま市議会6月定例会が、6月1日から6月24日までの24日間にわたって開催されました。今議会では、市長提出議案39件、議員提出議案1件、委員会提出議案3件が上程され、審議の結果すべて議決(承認・可決・同意)されました。

小森谷まさるは総合政策委員会では、1.避難所環境の整備について、2.マイナポイントの利用促進について質問・提案を行うとともに、大宮駅グランドセントラルステーション化構想特別委員会の委員長として本会議で委員長報告を行いました。



本会議で委員長報告

総合政策委員会
での質問要旨

避難所環境の点検・補修・整備促進を!

日本では大災害時に避難所の劣悪な環境による体調悪化や災害関連死が多発していたことから、これまで小森谷まさるは、避難所環境の向上を訴えて来ました。

今回は、さいたま市においてコロナ禍を機に避難所の居住スペースを一人当たり2㎡から6㎡に改めたことや長引くコロナ禍で避難所運営訓練の参加者が減少していることなどを踏まえ、実際に多くの

避難者がより安心できる環境で避難ができるよう避難所環境の点検・補修等の必要性を訴えました。

併せて、災害時に避難所となる海老沼小学校の体育館では、水道管が劣化したことにより女子トイレが1年以上の長期間使用できない状況が続いていることも取り上げ改善を求めました。質問を受け、海老沼小では、急ピッチで修繕に向けた取り組みが進められています。

物価高の中、マイナポイント活用で市民生活の応援を!

6月30日からマイナポイント第2弾がスタート!。エネルギー価格や食料品などをはじめ様々な物価が高騰する中で、最大20000円分のポイントがもらえるマイナポイントを市民に活用していただけるよう周知すべきと訴えました。また、マイナポイントの取得する



委員会で質問

には、令和4年9月末までにマイナンバーカードを申請しておくことと、令和5年2月末までにマイナポイントの申し込みを行う必要があることから、それぞれの期間に合った最大限の取得支援を行うべきと訴えました。

市内の区役所では、マイナンバーカードの申請に必要な写真撮影(無料)などカードの申請に関するサポートや、「マイナポイント第2弾」に関する手続きをお手伝いしています。*事前申し込みは不要です。開庁日の9時から17時まで(休日窓口開設を含む)。見沼区役所では、3階(喫茶室前)。



ポイント申し込みの流れ

必要なもの

- マイナンバーカード
- 数字4桁のパスワード
- 決済サービスのID・セキュリティーコード
- 本人名義の口座情報

各サービスの詳細は「マイナポイント事業ホームページ」で紹介



スマホの場合

- ▼マイナポイントのアプリをダウンロード
- ▼アプリ内の「申し込む」を押し、数字4桁のパスワードを入力。マイナカードを読み取る。
- ▼ポイント付与のキャンペーンを選択
- ▼決済サービスを選択し、IDなどを入力



▼マイナポイントや健康保険証の利用規約に、それぞれ同意

マイナポータルアプリに移動し、口座情報を登録

完了

申し込みの流れの詳細はこちら



小中学校等、給食費の保護者負担は増やさない!

——市長に物価高騰対策を要望し実現!!——

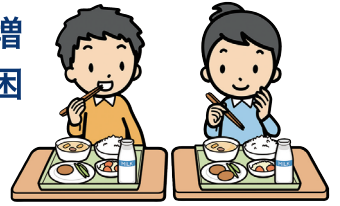


物価高騰対策の要望を清水市長に提出

ロシアによるウクライナ侵略に伴う食料品やエネルギー価格などの高騰に急激な円安が追い打ちをかけ、市民生活にも大きな影響を与えています。市民の暮らしと地域経済を守るため小森谷まさるは、清水市長に対し、政府が公明党の主張を受けて拡充した「地方創生臨時交付金」を活用して物価高騰対策を進めるよう緊急要望を行いました。

主な内容は、①学校、幼稚園、保育所等の

給食費の保護者負担を増やさない対策、②生活困窮世帯の経済的負担軽減策、③高齢者・障害者



福祉施設の運営事業者への支援、④市内中小・小規模事業者への支援、⑤ウクライナ避難民へのきめ細かな支援、などを求めました。

これに対して6月議会において市長から追加補正予算が提案され、給食費については、概ね

10%の価格高騰に対応できる予算が確保されました。また、高齢者・障害者福祉施設及び子育て支援施設等に対しては、**事業継続支援金(1施設10万円及び定員に対して入所1万円、通所5千円)給付**が行われることとなりました。さらに、市内のバス・タクシー事業者への**運行継続支援金**、中小(個人事業主を含む)企業者の企業体質強化に向けてエネルギーコスト節減のための**設備導入に3分の2以内(上限500万円)の補助金交付**などが予算化されました。

の**設備導入に3分の2以内(上限500万円)の補助金交付**などが予算化されました。



トピックス

◆さいたま市立病院にドクターカーを配備

これまで市内で運用してきた、さいたま赤十字病院と自治医科大学附属さいたま医療センターに加えて3台体制となりました。



◆不登校等児童生徒支援センター(通称 Growth)を開設

不登校や病気等で長期欠席をしている児童生徒が、オンライン学習等のICTを活用した学習支援活動等を通して、学ぶ喜びや人とのつながりを実感し、社会的に自立していくことを目指します。



◆ケアラー支援条例を制定

ケアラーが抱える悩みを一家庭の問題ではなく社会問題として認識し、誰一人取り残すことなく、ケアラーを社会全体で支え一人ひとりのケアラーが自分らしく、健康で文化的な生活を営むことができる地域社会の実現を目指します。



さいたま市議会議員

小森谷 まさる

市政についてのご意見・ご要望はお気軽に

TEL: 048-688-1047

FAX: 048-684-5392

komoriya@komei-saitamacity.com

<https://komoriyamasaru.com/>

